

足利市シルバー人材センター 「中長期計画」

令和5年度（2023年度）～令和9年度（2027年度）

「自主・自立、共働・共助」
の理念の下に…

令和5年5月

公益社団法人 足利市シルバー人材センター

一 目 次 一

第1	計画の策定について	1
	1		
	はじめに		
	2		
	策定の趣旨		
	3		
	計画の期間		
第2	センターの現状と課題	2
第3	計画の目標と取り組み	5
第4	指定管理事業について	7

第1 計画の策定について

1 はじめに

足利市シルバー人材センターは昭和57（1982）年1月に設立され、これまで40年にわたり、組織的に働くことを通して、高齢者の生きがいの充実や健康の増進のため、また、地域社会の発展や現役世代の下支えをするために活動してきました。

人生100年時代と言われ高齢者の人口が増えていく中で、シルバー人材センターには、地域に密着した就業機会を提供し、高齢者の社会参加を促進すること、そして、生涯現役で働き続けることができる社会の実現を図ることが求められています。

しかし、ここ数年、当センターの事業運営は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、かつてないほどの厳しい局面を迎えています。

こうした状況に対応するため、当センターでは、達成すべき目標を掲げ、活力のある組織運営、計画的な事業運営を行うための計画を策定いたしました。本計画の実現に向け、会員、役員及び事務局が一丸となって取り組んでまいります。

2 策定の趣旨

この計画は、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の発展に貢献するという目的を実現するため、当センターでの達成すべき目標を定め組織運営・事業運営を行っていくための方策を掲げたものです。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により極めて大きな打撃を受けているシルバー事業です。「事業実績をコロナ禍前の水準に回復させること」を目標とし、計画を策定いたしました。

3 計画の期間

計画の期間は令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。

第2 センターの現状と課題

●過去5年間の事業実績

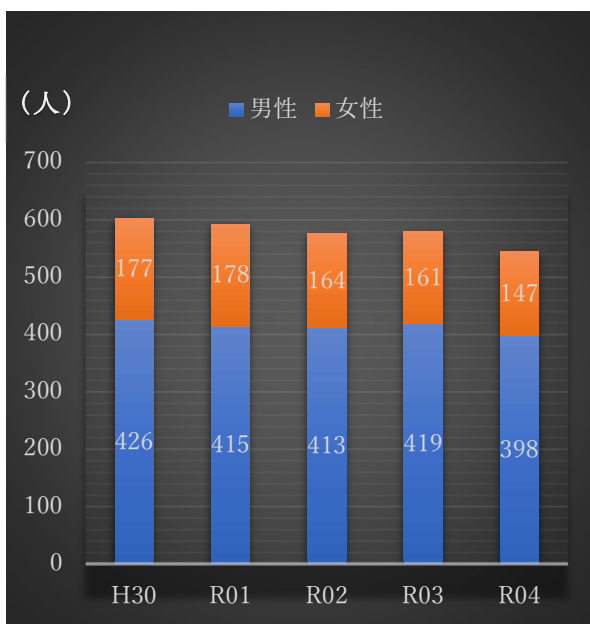
【会員・事業について】

区分 \ 年度	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
会員数 (人)	603	593	577	580	545
男性	426	415	413	419	398
女性	177	178	164	161	147
平均年齢 (歳)	73.4	73.7	74.2	74.1	74.6
男性	73.8	74.3	74.5	74.6	75.2
女性	72.3	72.3	73.2	73.0	73.1
契約金額 (千円)	219,153	205,106	171,424	174,073	165,237
公共	60,430	60,382	52,852	65,719	62,328
民間	158,723	144,724	118,572	108,354	102,909
受注件数 (件)	2,185	1,926	1,623	1,643	1,652
就業延人員 (人)	47,674	43,884	35,093	34,836	32,116
就業率 (%)	82.9	78.8	73.3	72.6	69.9

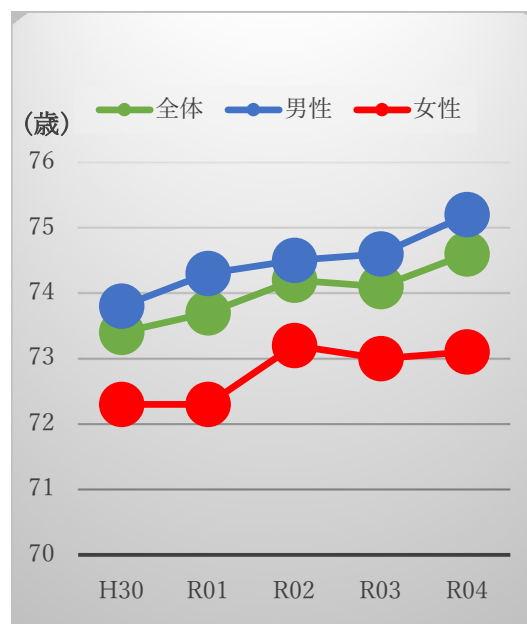
【正味財産について】 (千円)

年 度	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
経常収益 A	347,115	331,173	278,176	260,186	261,442
経常費用 B	344,281	320,580	273,666	262,772	261,723
当期経常増減額 (A-B)	2,834	10,593	4,510	△2,586	△281
資産 ア	86,441	83,395	100,086	86,316	68,071
負債 イ	61,436	47,797	59,962	48,779	30,805
正味財産 (ア-イ)	25,005	35,598	40,124	37,537	37,266

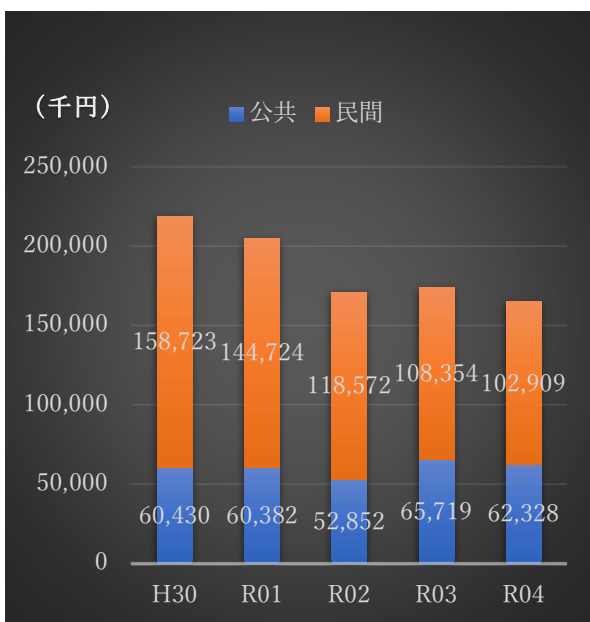
【会員数・男女別会員数】



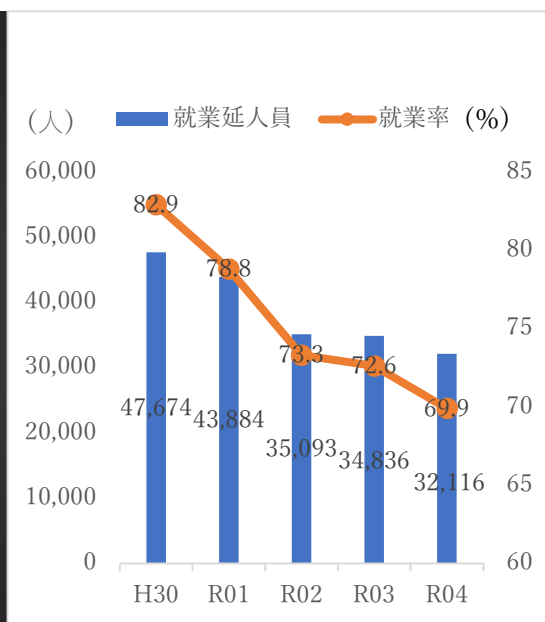
【平均年齢】



【契約金額】



【就業延人員・就業率】



●現状と課題

会員数は、平成 17（2005）年6月のピーク時には 900 人の登録がありましたが、それ以降は減少傾向が続き、令和元年度には 600 人を下回り、概ね 580 人前後で推移しています。企業等において再雇用制度の導入や定年年齢の引き上げなどもあり、高齢者を取り巻く労働環境は大きく変化しています。今後、会員数を拡大するには、これまで以上の努力が必要になります。

契約金額は、令和元（2019）年度までは、ほぼ横ばいで推移していましたが、令和2（2020）年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって施設管理業務等が大幅に減少したことや、記録的な猛暑を考慮し屋外作業従事会員の安全を確保するため就業時間に制限を設けたことなどにより減少しています。

また、庭木の剪定や除草作業など技術を要する業務において、需要は多いものの会員の高齢化や就業希望者の減少により、受注してから仕事を行うまで、長期間を要する状況になっています。今後は、経験者の獲得や、技術技能の習得など後継者の育成が必要となります。

就業率は、会員の高齢化の影響もあり、伸び悩みの状態にあります。高齢者であるがゆえの理由である病気や体調不良などにより就業できない会員や、「希望する仕事がない」「自分の条件にあった仕事がない」などの理由により就業できない会員もいます。今後は、会員のニーズを把握し、新規就業先の開拓も必要となります。

センターの主な財源は、受取事務費、正会員受取会費、連合交付金、及び市補助金です。現在、新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰により、経済の動向は不透明な状況にあり、将来的に円滑な運営を行っていくためには、より一層の経費削減に努め効率的な事業運営をおこなっていく必要があります。また、令和5（2023）年 10 月からスタートする消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）による新たな税負担への対応のため、その財源を確保する必要があります。

第3 計画の目標と取り組み

●目標値

区分	年度末目標値				
	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
会員数 (人)	580	585	590	595	600
男性	416	417	418	419	420
女性	164	168	172	176	180
契約金額 (千円)	173,200	181,200	189,200	197,200	205,100
公共	64,100	67,000	70,000	73,000	75,900
民間	109,100	114,200	119,200	124,200	129,200
受託件数 (件)	1,700	1,755	1,810	1,865	1,920
就業延人員 (人)	34,450	36,790	39,130	41,470	43,800
就業率 (%)	71.7	73.5	75.3	77.1	78.8

●取り組み

①会員の拡大

定期的な入会受付けに加え、出張入会説明会の開催など、入会促進に向けた活動を、会員、役員及び職員が一丸となって取り組むとともに、「会員ひとり一就業・一会員紹介運動」を強化します。また、各種団体等の協力を得て、企業退職予定者層への働きかけや、女性部会を通して女性の入会促進を図ります。

②人材の確保育成

技能等を習得している者の入会促進に努めます。また、技能作業や屋外作業に従事する会員の高齢化に伴う後継者不足に対し、他の職種から転換可能な既存会員の発掘に努め、技能向上のための教育を実施します。

③受託事業の拡大

高齢者に相応しい仕事の受注を確保するため、事業所や一般家庭、公共団体等を対象に、役職員による就業開拓及び地域班組織を活用した就業開拓に努めます。

④就業率の向上

会員の就業ニーズを把握し、多様な受注の開拓や就業機会の拡大を進めるとともに、仕事を分かち合うための取り組みを強化し、就業機会の均衡と適正就業の推進に努めます。

⑤財政運営の充実

今後も安定した財政運営ができるよう、一層の経費削減に努め効率的な事業運営に努めます。また、適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応するため、段階的な事務費の引き上げも検討していきます。

⑥事務局組織の充実

事業に関する技術や情報を継承するため、計画的な組織運営を行い、職員の適正配置や、資質と能力の向上を図ります。

第4 指定管理事業について

●過去5年間の実績

【利用人数・利用料】(人・千円)

区分 \ 年度		H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
東幸楽荘	人数	51,291	46,302	16,391	27,578	26,205
	利用料	4,239	3,611	1,280	1,220	2,199
西幸楽荘	人数	53,274	48,744	20,802	28,115	32,504
	利用料	4,001	3,564	1,419	899	2,398
北幸楽荘	人数	36,462	34,359	13,457	17,743	22,066
	利用料	3,043	2,961	1,176	1,629	2,021
合計	人数	141,027	129,405	50,650	73,436	80,775
	利用料	11,283	10,136	3,875	3,748	6,618

*令和2・3年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令の影響や、ワクチン接種会場として利用したこと等による休館期間あり。

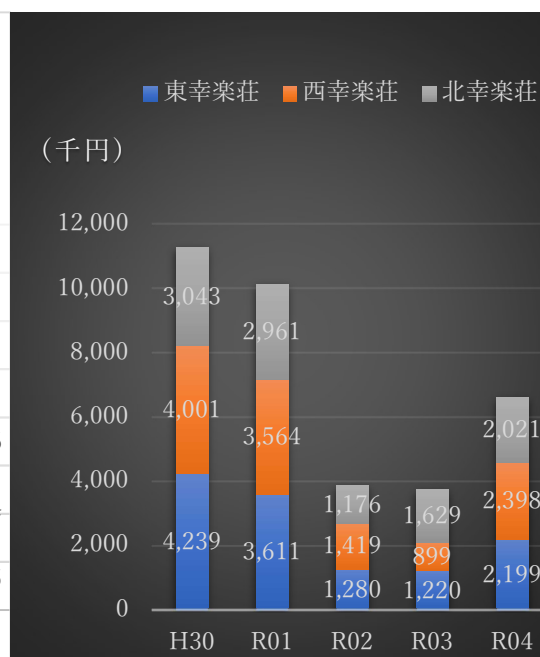
*令和3年度の利用人数は、ワクチン接種のため来場した人数を含む。

*令和4年度は入浴及びサークル活動のみの利用。

【利用人数】



【利用料】



●現状と課題

増加する高齢者人口に反し、生活様式や趣味の多様化に伴い利用者の固定化が進み、利用者数は減少傾向にあります。また、利用者の年齢層は75歳以上の方が大半を占め、高齢者の中での若い世代である60歳代の方の利用が少ない状況となっています。

さらに、令和2（2020）年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言等が発せられたことを受け、臨時休館措置をとったことや、感染拡大防止のため利用制限を設けたことにより各種事業等が実施できなくなるなど、利用実績は令和元年度以前に比べ、大きく下回っています。

また、各施設共に建築から20年以上が経過し、老朽化が進み、建物や機械設備などの破損、故障が頻発している状況です。

●目標値

【利用人数・利用料】（人・千円）

区分		年度	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
		東幸楽荘	人数	41,700	42,900	44,000	45,200
	利用料	3,096	3,250	3,400	3,550	3,700	
西幸楽荘	人数	43,900	45,100	46,300	47,500	48,700	
	利用料	3,235	3,320	3,410	3,500	3,600	
北幸楽荘	人数	31,000	31,800	32,700	33,500	34,400	
	利用料	2,804	2,850	2,900	2,950	3,000	
合計	人数	116,600	119,800	123,000	126,200	129,500	
	利用料	9,135	9,420	9,710	10,000	10,300	

*現在の指定管理者の指定期間は、令和7（2025）年度までであるが、本計画の策定期間である令和9（2027）年度までの目標値を設定した。

●取り組み

①新たな利用者の獲得

既定にとらわれず、より多彩で魅力的なイベントや事業を積極的に展開し、新たな利用者の獲得に努めます。また、高齢者の中での若い世代である60歳代の方々に利用いただけるような講座等を企画し、幅広い年齢層に利用される施設運営に努めます。

②経済的で効率的な運営

設備の維持管理に注意を払い、経済的で効率的な運営に努めます。空調の適正な温度設定等、エネルギー使用を管理し、環境負荷の軽減に努めます。また、電気、水道、ガス等の使用に当たっては極力節約に努めます。

③コロナ・新ステージでの事業展開

感染症法上の位置付け変更後の感染対策の考え方に基づき、必要に応じた対策を講じ、地域老人福祉の拠点としての役割を果たせるよう適切な運営に努めます。

④サービスの向上

安心して利用いただける施設として、多くの高齢者の方々に愛され、親しみをもって楽しんでもらえる魅力ある施設になるような運営に努めます。